

議案に対する討論

請願第1号 体育複合施設建設予算の執行保留・延期を求める請願書	請願第2号 総合体育館建設の市民への説明会開催に関する請願
<p>賛成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札が中止になった以上は、優先順位を考えもう一度見直すべきだ。 ・今回の入札は予定価格より何億円以上の差額があり、無理な入札は正常にできないと考える。 ・入札不成立後、幾つかの方法があると思うが、いずれも無理であると考えておりしばらく様子を見ていくべきではないか。 <p>反対</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前から多くの市民が熱望しており、早期に完成を願う機運が多角的にも高まっているのは、間違いない。 ・多くの団体、住民から切実な要望がある以上、体育館の必要性を十分考慮し、建設が可能な今こそ建設すべきである。 ・この考えに共通する部分も持っているが、今この請願は必要ないと捉えている。 	<p>賛成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会に対する説明会要求の請願であるという主旨を大きく踏まえて、ぜひとも受けとめてもらいたい。 ・構成、文言等について把握しかねているが、全体の主旨を推量する。 ・全議員で可決した議会基本条例に、議会の議決または運営について説明する責任を果たすものと規定しているため。 <p>反対</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主旨の中に理由が書かれていなければならない文言が理由の中にあり、賛成、反対をするまでにいたっていない請願である。

※討論は、主な議案の要約した内容を掲載しています。

Q 太宰府東中学校野球部が今年の中体連大会において筑紫地区大会、筑前地区大会、福岡県大会と勝ち進み、九州大会に出場した。そこで、中体連大会の助成について2点伺う。

①東中野球部が勝ち進むにつれ、応援者も増えていった。しかし、ベンチ入りの選手の交通費は補助の対象になるが、ベンチ入りできなかった選手はその対象にならない。部員全員分を補助の対象にして貰いたいが見解は。

②今回のように大会を勝ち上がった場合、自己負担を軽減できるよう生徒会費やPTA活動費等の使用などができないか。



問 中学校部活動の交通費補助の拡大を

長谷川 公成 議員

A 部長 ①中体連大会の交通費補助金については、筑前地区大会以上の大会に参加する生徒と引率者を対象として、市から補助金を支出しています。

②生徒会費やPTA会費の予算配分はPTA総会で承認され決定しており、大会参加補助費として、できる限りPTAに支援をお願いしています。



福岡県大会決勝

質問項目

- 本市中学校の部活動について
- 平成26年8月22日の市内豪雨について

質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目について(質問と回答の内容を要約)掲載しています。



問

小・中学生に充実した夏休みを

神武 綾 議員

Q 小中学校の夏休みを楽しく充実した毎日過ごせるよう場所の確保やきつかけづくりを増やすべきだと考える。次の3点を伺う。

①子どもたちが学習できるように開放している場所は、市として学習の場と認識しているのか現状は。

②小学校のプール開放は各小学校によつて利用児童、利用方法が違う。公共施設で子どもたちがお金の負担なく遊べる場所の提供として市内平等に小学校のプールを開放してはと考えるが。

③現在市内小、中学校の夏休み中に离校日はないが、その設定について考えがあるのか。

A

部長 ①市の公共施設におきましては、

小中学生が学習の場として利用できるのは、プラム・カルコア太宰府、いきいき情報センター、女性センター・ルミナスの3館です。

②教育委員会から各学校長宛てにプール使用日時を事前に照会をし、提出されました予定日時に合わせてプール監視員を配置しているため、学校によつて利用状況が異なっているという状況です。

③平成9年度の夏休み中に近隣市において児童生徒の命を脅かす事故が発生しましたことを契機とし离校日の見直しを行い、市内及び近隣の小中学校では离校日を廃止しまして現在に至っているところ。



質問項目

- 小中学生の夏休みについて
- 新保育制度の施行について



問

中学生にもコミュニティバス補助を

不老 光幸 議員

Q

中学生通学時のコミュニティバス利用について、本市では北谷区、松川区、内山区の小中学生の通学にコミュニティバスを利用している児童には、その利用料金を半額にする補助措置をとっており、

これは児童の登下校時の児童誘拐などの事故を予防する目的で利用者も多く、好評にて今日まで推移している。一方中学生登下校は自転車、徒歩、バス

利用とさまざまな方法を実施されておりバス利用も特にクラブ活動後の下校ときのバス利用の希望も多く通学費用の軽減のため小学生と同じように半額の補助措置がとれないか伺う。

A

部長 登下校にお

ける、まほろば号の通学割引制度は遠距離徒歩通学の小学生の体力に対する配慮から現在太宰府小学校におきまして84名を対象とし、中学生の状況としましては、太宰府中学校の生徒で自転車との併用も含めまして83名がまほろば号を利用しております。健康面から

考えた場合、子どもの体力低下が全国的な問題となつている中、中学生の時期は体力的にも成長期に徒歩や自転車で通学し、体力を養うことも重要であると考えております。



質問項目

- 中学生のコミュニティバスの利用について
- 学業院中学校と水城小学校を小中一貫校のように校舎運動場の共有化について
- 福岡市地下鉄の福岡空港線を太宰府天満宮近くまで延伸化について



問 安全・安心な防災対策とは

福廣 和美 議員

Q 防災対策について3点伺う。

①今年8月に広島市でおきた土砂災害について、地形も土質も同じ箇所があり大いに参考にして取り組む必要があると考える。砂防ダムや治山ダムなどの防災、特に水城ヶ丘、国分、連歌屋、三条台などの地域について。

②御笠川水系の氾濫について。

③避難勧告後の避難と自主避難の避難先、また災害時の要援護者や負傷者の救出救護をどの時点でどのようにするのか。広報について今後どのように考えているのか、広報車とコミュニティ無線でいくのか。

A 部長 ①今回の被害が少なかつた大きな要因の一つとして市内には砂防ダム17基、治山ダム103基設置されておりこれが威力を発揮したのもおっしゃってあります。既に砂防ダム、治山ダムの増設について県と協議を行い新たな設置に向けて継続して要望箇所を上げていきます。

②平成24年度から河川断面が狭小であります未改良区間の整備につきましても県に要望しています。今後、順次改修が進むものと思っております。

③今回のような大雨状況下におきましてはコミュニティ無線が聞こえづらい箇所もたくさん出ています。他市事例等も調査研究しながら取り組んでまいりたいと考えております。



水城ヶ丘区砂防ダム

質問項目

○災害対策について

Q 市民対象の健康診断等において、肥満や高脂血症、高血圧など健康指導をお受けになる方が多い。その指導のあり方について、運動を取り入れた個別のコーディネートシステムの再検証が必要と考える。案として、保健センターの健康診断結果において運動が必要とされた人に対し、個別プログラムをコーディネートし、最適な運動方法やそれができる施設、具体的には、いきいき情報センターのトレーニングジムや市民プールなどを紹介し、その人に合った運動を指導する体制の確立を図ることが重要である。そのためには、関係部署と運動施設の積極的な連携が必要であり、利用料も一定の補助等を実施し、利用しやすいように配慮すべきではないか。

A 課長 健康診断受診者への保健指導では、生活習慣を見直し、適切な栄養、運動の必要性を理解していただくとともに、忙しい方などには、気軽に始められるウォーキングなどを勧めています。定期的には、電話や訪問、面接を行い経過確認し、市主催の健康教室講座、トレーニングジム、市民プール等の紹介を行っています。



問 市民の健康指導に運動施設との連携を

後藤 邦晴 議員

質問項目

○市民の健康指導のあり方について



問

五条保育所の募集計画、
移転計画は

渡邊 美穂 議員

Q 五条保育所は来年4月開所予定となっているが、できるだけ混乱なくスムーズに移行してもらいたいと思う、次の3点について伺う。

- ① 児童の募集計画は最初から200名を前提とするのか当面150名程度など余裕を持つて募集されるのか。
- ② 正職員3名以外に臨時や嘱託職員、調理員、栄養士の採用計画について。
- ③ 移転計画について。

A 部長 ① 入所児童の募集計画は、11月中旬配布予定の保育所入所案内には、定員200名で募集いたします。なお、育児休暇等の年度途中入所の申し込みも受付ますので4月から定員に達することはありません。

② 職員の採用計画は、正職員3名以外に嘱託保育士を、九州各県の養成校に募集要項を送付するなどの方法で引き続き募集を行ってまいります。嘱託調理員は募集する予定で、栄養士は今回、採用予定はありません。

③ 移転計画は、2月末に完成検査を行い、3月には職員、保護者の見学や4月1日からの給食実施に向け調理のシミュレーション等を行う予定でスムーズに引越ができるよう現在、庁内で調整を継続しております。



五条保育所（9月末時点）

質問項目

- 五条保育所について
- 小中学校における集団フツ素洗口について



問

災害時の「安心」整備を

原田 久美子 議員

Q 安全で安心して暮らせるまちづくりについて2点伺う。

- ① 8月22日の集中豪雨でも、本市では大きな災害がなかったが市内の被災状況と今後の復旧見通し、さらなる防災体制の取り組みについて。
- ② 避難場所へのAED設置と、市民へのAED体験講習会の実施状況及び今後の実施計画は。

A 部長 ① 8月22日の大雨では人命に関わる被害はありませんでしたが床下浸水のほか車の水没等が発生しています。これまでの災害の経験で市内に設置した砂防、治山ダムが威力を発揮したと考えます。今後も、増設について県と協議を継続してまいります。

② 避難所におけるAEDの設置状況は、今年度中に指定避難所の全施設に設置が完了する予定です。講習会につきましては、今後も消防署、消防団と連携して進めてまいります。



質問項目

- 安全で安心して暮らせるまちづくりについて
- 高齢者施策の充実について



問 雨水利用促進のため
補助制度創設を

小島 真由美 議員

Q 本年5月1日に雨水利用推進法が施行された。水資源の有効な利用を図り、下水道や河川への雨水の集中的な流出の抑制に寄与することを目的としている。そこで、2点伺う。

A 部長 ①家庭用雨水貯留タンク等の助成制度は全国で168自治体、福岡県では3市取り組まれており、同法律の目的等も市民への普及啓発を図りながら調査研究を進めていきます。

①雨水を貯留することで散水や洗車等の日常生活への利用と災害時の有効利用のため雨水貯留施設、タンクの施設に係る補助制度が必要だと考えるが見解は。

②現在の市の公共施設では太宰府館に雨水貯留施設があり、トイレの洗浄用水に利用しています。今後も施設の新設や大規模な改修の際に用途、規模、構造を勘案の上、雨水利用を検討していきます。

②公共施設における雨水利用、雨水貯留浸透施設の設置など現在の状況は。



質問項目

- 洪水抑制や有効利用のための雨水利用促進について
- 成人用肺炎球菌ワクチンの定期接種化について



問 店舗へのリフォーム
助成制度創設を

藤井 雅之 議員

Q 4月の消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が個人消費の減少にあらわれている。今こそ中小企業者への支援措置、振興策が必要である。群馬県の高崎市では、商店版リフォーム助成制度、まちなかりリニューアル助成事業補助金が昨年創設された。店舗の改装や備品の購入などに上限は100万円まで費用の半分を補助する制度である。中小企業者への支援策として太宰府市においても同様の制度の導入を求める。

A 部長 高崎市の制度は、補助率の1/2、一店舗当たりの上限100万円、一回限りの利用として店舗の改装工事費、店舗で使用する備品の購入費を助成する制度です。本市では、市の補助金と県の交付金である地域経済活性化支援事業費交付金の活用によって、商工会が実施する、だざいふ得とく商品券に住宅リフォーム工事を助成として推進しており、早々と完売しました。商工会では、経営支援事業として創業支援や金融支援をしています。高崎市が導入した制度については、財政規模の違いもあり、本市での実施は難しいと考えております。

①洪水抑制や有効利用のための雨水利用促進について

②成人用肺炎球菌ワクチンの定期接種化について



質問項目

- 店舗へのリフォーム助成制度創設について
- 国民健康保険税について
- エスコートゾーンの整備について



問

デマンドバス等の
予約型運行について

門田 直樹 議員

Q 車を持たない高齢者等が在宅で暮らしていくには地域交通の充実が欠かせない。本市では特に丘陵地の住宅街で買い物や通院に困っておられる方が多い。報道では国は地方自治体が主体となり乗り合い・予約型で小型バスやタクシーを運行する仕組みを本格的に普及させる方針を固めたという。現在、連歌屋、湯の谷など一部の地域において小型の乗合自動車

A 課長 予約型は自由が高い一方で、予約のわずらわしさや、予約が集中した場合の時間的正確性の欠如、輸送コストが高い等の短所もあります。また費用負担の問題やインフラ整備にあつてのコミュニケーションの二重投資の回避、既存の交通体系の抜本的見直し等多くの問題を解決する必要があり。今後政府の動向を重視しながら真に地域になじむ移動手段であるか住民目線で調査研究を進めてまいります。

市長 デマンドバス等の予約型運行についても研究しており、あるいは道路網の変更などに応じて路線の変更など柔軟に対応しているところです。許可等必要ですので計画的に進めてまいります。



質問項目

○ 予約型バスの運行について



問

観光客の回遊を高める
施策を

陶山 良尚 議員

Q 太宰府市は日帰りの観光が主となっており、一日かけて市内を楽しんでいたが仕掛けが必要で、検討課題は山積みである。次の2点について伺う。

A 部長 ① 昨年に比べへ順調な出だしとなっています。観光ルート作成準備や若年層をターゲットとした休日設定のコースに取り組む計画をされており、食や体験をという付加価値を織り込んだ滞在型観光の推進になると考えています。

② 平成22年から国の認定を受けた太宰府歴史の風致維持向上計画に基づき、蔵司通路散策路環境整備や戒壇院通路環境整備を実施して回遊性向上を図っています。さらに、その周辺での休憩、食事、買い物ができるよう、歴史まちづくりの観点から小規模な専用店舗の誘導可能な都市計画の変更について関係機関との協議を進めております。



質問項目

○ 滞留型観光について



問 早急な教育環境の整備を

上 疆 議員

Q 全小中学校の普通教室へのエアコンの設置について3点伺う。

- ①当初予算で学校冷暖房設備導入計画策定支援業務委託料100万円を計上され、その後どのような調査がなされたのか。
- ②調査した結果、どのような結論を出されたのか。
- ③エアコンの設置時期はいつ頃と考えているのか。

A 部長 ①近隣市の状況について調査を行うとともに、導入計画策定に向けての資料として、

夏休みを除く6月中旬から9月末までの普通教室の温度調査を実施しているところだ。さらに、検討資料として、本市の過去の気温やPM2.5の状況、他の自治体のエアコンの整備状況など情報の収集を行っています。

- ②各教室の温度調査を9月末まで実施することにしており、これが出そろった時点で結果については、今後出していききたいというふうに考えています。
- ③今後、この調査結果等をもとに設置時期を含めた導入計画を作成していききたいと考えています。



質問項目

○全小中学校の普通教室への空調設備（エアコン）の設置について



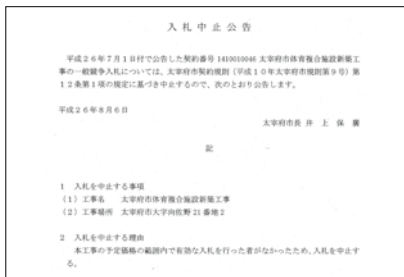
問 今後の入札時期、予定価格は

芦刈 茂 議員

Q 体育複合施設新築工事が入札中止に至った経過と今後の対応について伺う。

A 部長 全ての入札者の入札額が予定価格を上回ったので中止しました。このため、現在の再入札に向け、内容の分析等を行っているところです。

副市長 22億から27億円にしたときには、1月に国のほうから余りにも材料費等が高騰しているの、その分については更正しなさいという形の通知がきたので、それに応じた財源と予算の組み替えを行ったところだ。また、今度の入札の中には組み立て、加工する費用が高くなっているというところがあります。そのようなことから、私どもが予定をしております価格に今回達しないということがわかりましたので、複数社が応札をしておき、建設しようという意欲はあるようですので、それを今、精査しているところだ。今後とも建設に向けて市としては実行していきたいというふうに考えているところです。



入札中止公告

質問項目

○体育複合施設について